

村では、新庁舎の基本設計にあたり、令和2年度に策定した「拠点づくりプロジェクト基本計画」を基に、村民ワークショップでのご意見や村議会改革特別委員会から頂いた提言書を踏まえ、新庁舎建設検討委員会、庁内検討幹事会等において検討を重ねてきました。今回は、配置図・平面図の現在の検討内容をご紹介します。

01 新庁舎配置図

新庁舎は、敷地の「重心」に建物を配置することで、四方からのアクセスがしやすい裏表のない計画としています。また、仮設庁舎を作らずに、行政サービスを継続しながら新庁舎を建て替えるよう、工事を2期に分けて実施する考えです。

新庁舎配置図 ▼

※基本設計段階での内容は、実施設計の中で変更となることがあります。



災害時の連携

新庁舎は防災拠点となるため、避難所である文化センターや、熊倉小学校等と連携がしやすい配置計画とします。

優先駐車場

障がい者・高齢者・妊産婦等のためのおもいやり駐車場として、庁舎の出入口付近に計7台分の駐車スペースを設けます。

一般駐車場②

熊倉小学校

文化センター

新庁舎

白河消防署
西郷分署



にしごうキッズ
クリニック

多目的広場(防災広場)

平常時は、誰でも利用できる広場やイベントスペースとして、災害時は、避難者を一時的に受け入れる避難場所として計画します。

一般駐車場①

公用車等駐車場

→ 車両動線
- - - 来庁者動線
▲ 出入口

02 新庁舎平面図

(仮称)村民ラウンジを中心に「会議室」「保健センター・議会」「執務室」の3つの機能を結び、庁舎全体(住民・議会・行政)が一体となる機能的な空間とします。

執務室の構成は、1階に窓口機能を集約し、2階には産業振興部門や災害対策関連諸室、議会関連諸室を設け来庁者にわかりやすい構成とします。

新庁舎平面図 ▼

※基本設計段階での内容は、実施設計の中で変更となることがあります。

